

AHT 症例に関する医療者と警察・検察との連携に関する研究

現在、京都府立医科大学脳神経外科では、「AHT 症例に関する医療者と警察・検察との連携に関する研究」に協力しています。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

乳幼児頭部外傷の原因を医学的に適切に鑑別するために、どのような検査が実施されているのか、どのように診療録に記録をされているかを検証し、公判症例は公判記録をもとに判決要旨、争点、医学的証拠・証言を検証することにより、頭部外傷の原因が医学的にも、刑事裁判においても適切に判断され、よりよい児童虐待防止対策につながることを目的とします。

研究の方法

・対象となる方について

2005年4月1日から2019年3月31日までにまでの間に、京都府立医科大学脳神経外科で診療を受けられた方

・研究期間：医学倫理審査委員会承認後から2022年3月31日

・方法

交通外傷を除き、第三者目撃のない2歳未満の頭部外傷により入院した患者さんを対象（症例群）、第三者目撃のある2歳未満の頭部外傷を対照群として、診療録を用いて後方視的に検討します。

・研究に用いる試料・情報について

試料：なし

情報：診断時の年齢、性別、家族背景、診断名、来院時の症状・状況、画像検査の結果、治療、児童相談所等との連携状況、退院先など

司法調査症例については突合のため氏名、生年月日、外傷発生日、入院日、児童相談所名など

・外部への情報の提供

データ集計センター（日本子ども虐待医学会事務局内：神奈川県伊勢原市桜台 1-5-31 チェリーヒルズ金田 2 階 B 号室 代表者：山田 不二子）へ送付します。

・個人情報の取り扱いについて

調査により得られたデータを取扱う際は被験者の秘密保護に十分に配慮します。データ集計センターへ送付されたデータは、新たな番号が付与され、特定の個人を識別することができないようにされます。対応表はデータセンター内の施錠可能な場所にて厳重に管理され、司法調査のための突合を除き施設外に個人情報の持ち出されることはありません。研究成果は学会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者個人は特定できません。

診療録から得られた情報は原則としてこの研究のために使用し、結果を発表したあとは、京都府立医科大学脳神経外科において研究責任者・橋本直哉の下で 10 年間保存したのち、個人情報に十分注意して廃棄されます。

匿名化データは、将来新たな研究を行う際の貴重な情報として前述の保管期間を超えて保管させていただきます。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者：脳神経機能再生外科学 教授 橋本直哉

研究担当者：脳神経機能再生外科学 学内講師 山中 巧

研究代表者：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授 藤原武男

共同研究者：全国の小児科、脳神経外科、救命救急科の医師が所属する医療機関のうち、共同研究施設となることを承諾した医療機関施設

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022 年 3 月 31 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先 075-251-5013（脳神経センター外来） 平日 8:30～17:00

075-251-5716（脳神経外科病棟） 夜間・休日